

欧州各国で相次ぐ不審なドローン（621号）

2025年 10月 石館

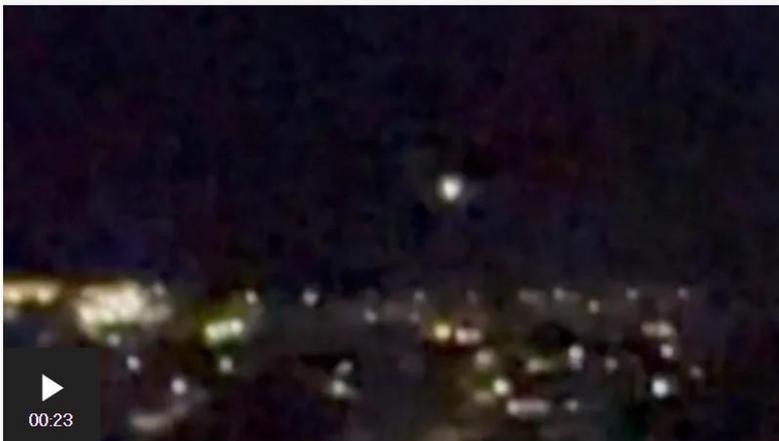
619号でロシアの戦闘機のエストニアの領空侵犯とドローンによるポーランドとルーマニア侵犯について書いたが、その後も欧州の空に不審なドローンの飛来が相次いでいる。621号では主にデンマークについて焦点を絞って記載することにする。



デンマークでは9月下旬に空港や空軍基地の近くでドローンの目撃が相次いだ。

デンマークの国防相は緊急記者会見で“偶発的でなく、組織的かつプロフェッショナルなハイブリッド攻撃と定義づけ

られる”と警告した。ドイツでも北部キールの上空でも複数目撃され軍事関連施設を偵察していた疑いが浮上している。



ドローンの飛来により航空機の運航が停止されたオールボー空港から、飛び去る物体をとらえた映像

デンマークのオールボー空港から、飛び去る物体をとらえた映像。

オールボー空港は軍事基地としても機能しており、空軍のF-35戦闘機やF-16戦闘機が配置されている。

また空港以外でも北海

の石油・ガスプラットフォームや港周辺でもドローンの活動が見られる。

デンマーク軍は現在、どう対応すべきかという問題に直面している。

このような深刻な事態を受け、デンマークの政府や国防・警察当局の幹部は緊急記者会見を開いた。国防相は、標的になった場所の数から、“組織的な”活動と

見ていると述べた。また国防相は“これはハイブリッド攻撃と定義できる”としたが、具体的な証拠が無いため、誰による攻撃なのか明確にしなかった。ロシアが関与している可能性は排除されていない。フレデリクセン首相は、22 日夜にコペンハーゲン上空にドローンが飛来した際に、そのことを明確にした。

一方、ロシア政府は関与を“断固として否定”し、在コペンハーゲンのロシア大使館も“仕組まれた挑発行為”だと非難している。だがフレデリクセン首相はロシアのリスクをはっきり自覚している。つい先週も、“ロシアは”今後何年にもわたり、ヨーロッパとデンマークにとって脅威となるだろう“と述べた

ここでデンマークについて述べてみたい。

デンマークのコペンハーゲン空港は小生が初めてドイツに駐在するときヨーロッパに最初に踏み入れた場所である。



地図の右側はバルト海でコペンハーゲンの近くの狭いエーレスンド海峡（幅7 KM 矢印の先）を通り抜けると左側の北海に抜ける。ロシアの艦船がバルト海から北海に抜けるにはこの海峡を通り抜けねばならない。

エーレスンド海峡は、北海とバルト海結ぶ非常に重要な役割を担ってきた。そのため、歴史的には通行税を巡る争いがあり、デンマーク側には通行税を徴収する



世界遺産 クロンボーク

ためのクロンボーク城が築かれていた。この城はデンマークの観光地として名高い。1857年に通行税は廃止されこの海峡は国際水路となった。ロシアにとって、万一デンマークと紛争になり、デンマークによりこの海峡を封鎖されると、物流にも大きな影響

及ぼす可能性がある。小生はこのクロンボー城に数回行ったことがある。この城によって徴収する通行税によって一頃デンマークの歳入の半分以上を占めていたと言われる。

デンマークは風力発電機をはじめ特殊な機械を製造して世界に輸出しており、トーマンも、ある機械の日本向けの代理店をやっていたことがあり、良くこのメーカーを訪ねたことがある。

トーマンが風力発電を始めたころはデンマークのメーカーが世界で一番進んでおりこの機械を輸入していた。そんなわけでデンマークを再三訪れたのでこの国に思い入れがある。デンマークと言えばまず人魚像が頭に浮かぶが、実際に



見るとなんだこんなものかと思う方が多いと思います。ただコペンハーゲンの街中にあり見学に便利なので、多くの人を訪れる。

実際デンマークには自然豊かな観光地が沢山ある。第一次世界大戦では中立を維持したが、第二次世界大戦では 1940 年にナチス・ドイツによって突然宣戦された。国王クリスチャン 10 世は亡命せずに 4 時間で降伏を選び、デンマークはドイツの占領下に置かれることになった。初期はモデル被占領国と呼ばれたが、国内では自治が許され、反ナチ運動家を保護したりした。その後ドイツ軍への抵抗運動なども起きた。



まるでおとぎ話の世界！デンマークのおすすめ観

戦後NATOにも加盟し、1973年にはヨーロッパ共同体にも加盟した。国内経済、教育水準共に世界トップクラスの先進国でありEUの一員、国連の非常任理事国も担当している。デンマークは単一国家であり、議会民主主義を導入している。立憲君主

制を国体としており、国家元首は君主である。また同国はヨーロッパにおける生活水準の高い先進国である。

NATO、北欧理事会、経済協力開発機構、欧州安全保障協力機構、国際連合の創設メンバーの一国であり、OECD各国中で最も個人所得税の高い国で、市民の生活満足度は世界最高レベルである。

2024年の世界平和度指数では8位、積極的平和指数では2位にランクされている。社会はグローバル化とデジタル化が進んでおり、それは国民生活と企業活動に多大な利益をもたらしている。デンマークは欧州で最もデジタル化された社会である。